



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 拓史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小町 博之 TEL 03(5217)7811
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	284	△16.4	△29	—	△28	—	△30	—
2022年3月期第2四半期	341	19.6	△11	—	△9	—	17	△82.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △17百万円 (-%) 2022年3月期第2四半期 0百万円 (△99.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△14.95	—
2022年3月期第2四半期	8.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	743	320	43.1	158.81
2022年3月期	767	337	44.0	167.41

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 320百万円 2022年3月期 337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	—
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	△35.4	10	76.8	10	5.3	60	834.1	29.76

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注2) 詳細につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	2,080,000株	2022年3月期	2,080,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	63,759株	2022年3月期	63,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	2,016,241株	2022年3月期2Q	2,016,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況の改善や行動制限の緩和等により経済活動の回復が期待されました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、世界的な原材料価格の高騰や円安進行等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、業務効率化・生産性向上やビジネスモデルの変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連に対する注目度は依然として高く、投資需要は継続して強く期待されております。

このような事業環境の下、2022年3月期～2024年3月期の3か年の中期経営計画を策定し、事業規模の拡大による企業価値向上に向け、以下の主要施策に取り組んでおります。

- ①収益が悪化している事業の見直し
- ②積極的な事業投資
- ③ITソリューション分野における提携関係の強化
- ④事業推進管理の強化による営業黒字の継続、拡大
- ⑤継続的な事業拡大に向けたビジネスモデルの整備
- ⑥成長加速のための資金調達およびM&Aを含めた他社との提携

これらの主要施策の推進にあわせて、当社の強みの根幹である技術力と人材力に磨きをかけるための積極的な投資や、ソリューションベンダーとの連携による最適ソリューションの提供、業務サービスの企画・開発等に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は284,771千円(前年同期比16.5%減)となりました。利益面におきましては、営業損失は29,059千円(前年同期は営業損失11,365千円)、経常損失は28,555千円(前年同期は経常損失9,763千円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は30,151千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益17,246千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は743,117千円となり、前連結会計年度末に比べ24,403千円減少いたしました。主な増減は現金及び預金の増加37,650千円、受取手形及び売掛金の減少47,199千円、投資有価証券の増加3,875千円、無形固定資産(ソフトウェア)の増加3,743千円となっております。

(負債)

流動負債の残高は180,141千円となり前連結会計年度末に比べ25,645千円増加し、固定負債の残高は242,773千円となり前連結会計年度末に比べ32,716千円減少しました。これは主に前連結会計年度末の長期借入金106,664千円のうち当第2四半期連結会計期間中に一年以内に返済予定となった41,664千円を、流動負債に組替えたためであります。

この結果、総負債の残高は422,915千円となり前連結会計年度末に比べ7,071千円減少しました。

(純資産)

純資産の残高は320,202千円となり前連結会計年度末に比べ17,332千円減少しました。これは主に利益剰余金が30,151千円減少したほか、その他有価証券評価差額金が12,819千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、43.1%(前連結会計年度末44.0%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により28,740千円増加、投資活動により8,909千円増加しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は前連結会計年度末残高より37,650千円増加し、542,622千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は28,740千円増加(前年同期は22,766千円増加)しました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が29,425千円減少、売上債権の減少47,198千円等により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は8,909千円増加(前年同期は14,598千円増加)しました。これは主に、保有投資有価証券売却による収入10,721千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増減はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	504,972	542,622
受取手形、売掛金及び契約資産	114,415	67,216
仕掛品	379	728
貯蔵品	277	243
前払費用	17,061	17,158
その他	22,958	132
流動資産合計	660,064	628,099
固定資産		
有形固定資産	5,255	4,581
無形固定資産	10,600	14,343
投資その他の資産		
投資有価証券	72,528	76,403
繰延税金資産	3,348	2,867
その他	15,723	16,821
投資その他の資産合計	91,599	96,092
固定資産合計	107,455	115,017
資産合計	767,520	743,117
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,995	37,166
未払法人税等	16,024	1,035
1年内返済予定の長期借入金	33,336	75,006
前受金	22,505	23,417
賞与引当金	14,005	21,028
その他	24,631	22,489
流動負債合計	154,496	180,141
固定負債		
長期借入金	106,664	64,994
退職給付に係る負債	151,671	159,465
繰延税金負債	17,153	18,314
固定負債合計	275,489	242,773
負債合計	429,986	422,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,000	301,000
資本剰余金	8,552	8,552
利益剰余金	42,269	12,118
自己株式	△54,005	△54,005
株主資本合計	297,815	267,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,718	52,537
その他の包括利益累計額合計	39,718	52,537
純資産合計	337,534	320,202
負債純資産合計	767,520	743,117

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	341,371	284,771
売上原価	269,051	221,274
売上総利益	72,319	63,497
販売費及び一般管理費	83,684	92,556
営業損失(△)	△11,365	△29,059
営業外収益		
受取利息及び配当金	86	119
貸倒引当金戻入額	1,115	0
受取家賃	600	500
その他	1,015	185
営業外収益合計	2,817	804
営業外費用		
支払利息	1,170	300
その他	45	0
営業外費用合計	1,215	300
経常損失(△)	△9,763	△28,555
特別利益		
投資有価証券売却益	—	222
関係会社株式売却益	40,592	0
特別利益合計	40,592	222
特別損失		
特別損失	1,502	1,092
特別損失合計	1,502	1,092
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	29,326	△29,425
法人税、住民税及び事業税	12,533	245
法人税等調整額	△452	481
法人税等合計	12,080	726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,246	△30,151
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17,246	△30,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,916	12,819
その他の包括利益合計	△16,916	12,819
四半期包括利益	330	△17,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	△17,332

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,326	△29,425
減価償却費	88	1,137
減損損失	1,502	—
その他の償却額	1,228	165
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	315	7,022
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,330	7,793
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	—
受取利息及び受取配当金	△86	△119
支払利息	1,170	300
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△222
関係会社株式売却損益 (△は益)	△40,592	—
売上債権の増減額 (△は増加)	54,081	47,198
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,401	△315
仕入債務の増減額 (△は減少)	△37,114	△10,572
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	7,072	21,994
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,473	△1,828
その他	12,447	—
小計	22,895	43,129
利息及び配当金の受取額	86	119
利息の支払額	△1,170	△300
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	954	△14,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,766	28,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△533	△151
無形固定資産の取得による支出	△1,502	—
投資有価証券の取得による支出	△351	△396
投資有価証券の売却による収入	—	10,721
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	18,180	—
その他	△1,194	△1,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,598	8,909
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,364	37,650
現金及び現金同等物の期首残高	321,458	504,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	358,823	542,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当する事項はございません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)を第46期第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第46期第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。